

現下の無産階級内情を見れば、各党間に於て地盤の協定其他共同戦線を張ることは、事實に於て不能である。我党は未だ必ず総選挙に於ても他の無産政党との関係を顧慮することなく、我党独自の指導精神と戦闘力に信頼して、一路我党勝利の爲め勇往邁進せんことを期す。

第三、中央執行委員会

Ⅰ

回数、大正十五年十二月十五日第一回中央執行委員会を開

Ⅱ

党令に對する内外の重要事項につき活動的党令聲明を發し、且つ不斷の活躍を續け来つた。

- (一) 受協、反動、兩内閣糾弾。
 - (二) 對支問題に關する我等の活動。
 - (三) 労働立法に對する積極的態度。
 - (四) 休銀預金者擁護同盟の設立。
 - (五) 府縣会選挙戦。
 - (六) 無産政党合同又は提携問題。
 - (七) 友誼經濟團體との共同戦線。
 - (八) 日常生活問題に對する現實的活躍。
- 今是等の状況を見れば、

第四、受協、反動、兩内閣糾弾